

横浜市と「AGV を活用した下水処理場の巡回点検における 業務効率化に関する共同研究協定」を締結

実現可能性検証のため横浜市北部第二水再生センターでの実験を開始

株式会社フソウ(代表取締役 社長執行役員:角 尚宣、以下 当社)は、横浜市(市長:山中 竹春)と2025年7月7日に「AGV を活用した下水処理場の巡回点検における業務効率化に関する共同研究協定」を締結し、技術の平易化と業務効率化による技術者不足の解決を目的に AGV (Automatic Guided Vehicle:無人搬送車)を活用した巡回点検における業務効率化の実現可能性について、2025年8月から北部第二水再生センター(鶴見区)にて実証実験を開始しました。

■共同研究内容

当社と横浜市では、令和6年度に「AGV を活用した電気室の日常点検における業務効率化に関する共同研究協定」に基づく共同研究により、横浜市金沢水再生センター(金沢区)で毎月実施している、電気室内のメーターの読取りなどの日常点検作業を自動化し、そのデータから帳票を出力できることを確認しました。

本共同研究ではこれまでの取組を踏まえ、AGV による自動巡回及びセンサデバイスによる無人点検の適用範囲の拡大を目指します。

■共同研究概要

研究名称:AGV を活用した下水処理場の巡回点検における業務効率化

研究場所:横浜市北部第二水再生センター

研究期間:令和7年7月7日~令和7年9月30日

研究目的:AGV を活用した巡回点検における業務効率化の実現可能性についての検証

■共同研究背景

下水道施設の機能を維持し、将来にわたり安定した下水道サービスを提供するためには、日常点検等による予防保全型の維持管理が重要です。しかし、点検業務に従事する技術者の不足が年々深刻化しており、下水道事業の運営を維持していく体制を確保するため、業務の効率化を図ることが重要です。こうした課題を踏まえ、本研究では、AGV 活用による技術の平易化と業務効率化を通じて、水再生センターの維持管理業務を支援します。

株式会社フソウについて

設計・施工・運転管理・メンテナンス等においてデジタル技術を活用し、上下水道事業全般を展開する総合水インフラ企業です。設計・調達・施工と管理・保守を請け負う建設事業および建築設備事業、資機材の調達・流通・販売から管路の設計・施工一括発注方式(デザインビルド案件)、鋼板製異形管の製造、水質分析・技術開発、海外事業など、各事業の専門性とデジタル技術を融合させ、水インフラサービスの持続可能を追求し、地域社会の課題解決に取り組んでいます。

本社所在地:東京都中央区日本橋室町2丁目3番1号

代表者:代表取締役 社長執行役員 角 尚宣

資本金:30 億円

創業/設立:1946 年 8 月

拠点:38 拠点(国内 36 拠点、海外2拠点)

Web サイト:<https://www.fuso-inc.co.jp>

— 報道関係からのお問い合わせ先 —

株式会社フソウ

経営戦略本部 経営企画部 広報課

TEL:03-6880-2123 / MAIL:koho@fuso-inc.co.jp